

男鹿地区営農組合長会総会・研修会

2月27日(木)、男鹿地区営農組合長会の総会と研修会が男鹿観光ホテルで行われました。同地区の営農組合長ら約30名が参加し、営農組合活動の進め方について意見を交わしました。

参加者からは、管内の組合員や就農者数の現状などを踏まえ、これからの運営形態や活動内容について均一の実施を求める声が上がりました。

研修会では次年度の営農活動に向けて、令和元年度産米の生育経過や検査結果、転作の取り組み状況や令和2年度の営農指導計画などを確認しました。

営農組合活動について意見を交わしました



春作業を前に農機安全講習

3月2日(月)から6日(金)のうちの4日間、春の農機展示会が追分農機センターと雄和農機センターで開かれました。消毒スプレーを設置するなど新型コロナウイルスの感染拡大へ対策を施し、安全講習会も行われました。

会場には田植え機やトラクターなどが並び、来場者はメーカーやJAの担当者や機械の性能などについて相談しました。

ヤンマーアグリジャパン(株)からは、作業機を装着したトラクターが公道を走行できる条件を解説していただきました。春作業を目前に控えた生産者は、事故防止や安全作業の徹底へ意識を高めました。

作業機付きトラクターの公道走行に必要な対応を学ぶ参加者



NEWS & TOPICS

秋田地区大豆部会総会

各部会の総会が3月、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、規模の縮小や書面議決等によって行われました。

9日(月)には秋田地区大豆部会の総会が例年より縮小して開かれ、令和元年度の事業報告や次年度の計画について意見を交わしました。新加入の部会員の紹介も行われた他、関係者からは、大豆の販売情勢や土壌改良材試験、大豆団地化加算助成に係る追加要件などの説明がありました。

令和元年度の良質多収大豆コンクールの結果発表も行われ、加藤精務さん(秋田市追分)、鹿野戸大豆生産組合(同市雄和)、佐々木耕悦さん(同市雄和)が上位3位に輝きました。

次年度の活動計画などを審議しました



令和元年度農協特別功労表彰者に船木耕太郎会長

令和元年度の農協功労表彰者がJA全中より発表され、長年にわたって農業協同組合の運営や発展に尽力した功績が認められた特別功労表彰者として、船木耕太郎会長が表彰されました。また、県内のJAからは、JA秋田たかのすの齊藤一志組合長とJA秋田ふるさとの小田嶋契組合長が功労表彰者に選出されました。

3月6日(金)のJA全中臨時総会での表彰式が新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ観点から中止となったため、16日(月)に秋田県JAビルで開かれた中央会理事会で表彰状を授与し、長年の功績が称えられました。

表彰状を受け取った船木会長(中央)ら

